

作業学習指導案

学級：特別支援学級
対象：2年3人 3年1人 計4人
場所：特別支援学級教室
～ 図書室周辺
指導者：教諭 川尻友美

1 題材名 校内清掃

2 題材について

(1) 題材設定の理由

〈生徒の実態〉

本班は、2年生3人・3年生1人の計4人で構成されているが、普段の授業では、一緒にの班として取り組まない生徒も含まれる。本班として活動することは少ないが、それぞれが他の時間帯で作業学習に取り組んでいる。

この班には、昨年度から同じ作業内容を経験している生徒や本年度から新たに作業内容に取り組む生徒がいる。作業手順を理解して作業することはできるが、丁寧さや作業スピードに課題がある生徒がいる。また、作業手順の理解までに至っていないため、一つ一つの手順を教師や友達と確認しながら作業を進める生徒もいる。これらは、作業手順を理解し、覚えることができていなかったり、報告する前に自分自身での確認がしっかりできていなかったりするものと考えられる。また、作業に必要な技術と報告、連絡、相談など社会生活の中で必要な態度が十分に身に付いていないこともあり、それぞれの状況にどのように対応すればよいか分からないということが考えられる。

〈題材の意義・価値〉

このような生徒たちの実態を踏まえて、本題材では、窓清掃を中心とした校内清掃に取り組むことにした。昨年度から取り組んでいる生徒にとっては、より早く正確な作業を心掛けさせやすい。また、今年度から取り組んでいる生徒に対して、作業方法を教える場面も設定することができる。今年度より取り組んでいる生徒にとっては、身近に手本があり、それを目標として取り組む意欲が高まると考えられる。また、これらの活動は、進路先として考えている特別支援学校の高等部でも行われている活動であり、中学校で経験することで、進路先へスムーズに移行できるものと考えられる。さらに、これらの活動を通して、公共心や清潔意識を高めることが期待できる。また、適切な言葉遣いや話し方を意識して取り組むこともできると考えられる。そして、校内を清掃することで感謝の言葉を掛けられたり、他の場所の清掃を委託されたりすることがあり、交流学級では自信のなさから消極的になりがちな生徒にとって、自己有用感を育むことが期待できる。

〈ねらい〉

そこで、本題材では、自分の担当する作業に責任をもち、安全面に配慮しながら最後まで取り組むことができるようにさせたい。また、正しく作業用具を使ったり、必要に応じて報告、連絡、質問したりする姿勢を身に付けさせたい。さらに、生徒同士で確認したりしながら互いを認め合うような機会や場を設定することで、コミュニケーション能力を育てたい。

〈指導観〉

まずは、具体的な写真などの手順カードを用いて、作業手順や基礎的技能を理解し、個人目標を確認することで、見通しをもって作業に取り組むことができるようにする。次に、生徒の実態に応じてペアリングを工夫することで、協力する場面を設定し、コミュニケーションを図る機会とする。さらに、生徒に考えさせるような問い掛けを意図的に行い、安全に作業するために、自ら考え判断し、状況に応じた挨拶や返事、報告、連絡をすることができるようにする。

〈展望〉

これらの学習を通して、生徒たちは達成感や成就感を味わうことができ、今後も自信や意欲をもって活動することができるようになる。さらに、望ましい作業態度やコミュニケーション能力を向上させ、積極的・協動的に人と関わろうとする意欲や態度にもつながっていくものとする。

(2) 生徒の実態

生徒 観点	A (2年：男)	B (2年：男)	C (2年：男)	D (3年：男)
掃除に対する 興味・関心	後半で集中力が切れ、最後まで集中することは難しいが、言葉掛けをすることで、最後まで取り組むことができる。	窓拭きなど興味のある内容には、長時間集中して取り組むことができるが、興味のないものには取り組まないことがしばしばある。	話に夢中になり、手が止まることが多いが、こまめに言葉掛けをすることで、決められたことには取り組もうとする。	終了時刻を気にして、最後まで集中することが難しいが、結果が目に見える作業には、長時間集中することがある。
指示理解	簡単な指示をきちんと聞き取ることが難しく、聞き直すことがある。	簡単な指示を正しく理解して作業することができる。	簡単な指示はきちんと聞き取ることができるが、作業の途中で忘れることがある。	簡単な指示を正しく理解して作業することができる。
作業内容の理解	作業手順や内容はほぼ理解しているが、自分なりのやり方をなかなか変えられない。	作業手順や内容はほぼ理解しており、正しい手順で作業することができる。	手順カードを確認したり、教師の言葉掛けを受けたりしながら、手順どおりに作業を進めることができる。	作業手順や内容は理解しており、作業手順を守って作業することができる。
作業能力	作業スピードが遅く、時間内に終わらせることが難しい。また、正しい方法を理解し納得するまでに、時間が必要である。	作業用具を安全に取り扱うことができ丁寧で早く作業することができるが、照れ隠しのためふざけることが多く、気持ちの切り替えが難しい。	作業スピードはあるが、丁寧さに欠けることがある。また、教師に認められないと思っているところがあり、必要以上にやり直しをするため作業が進まないことがある。	自分の作業の仕上がりを確認することはできるが、早く済ませたいという気持ちが強く、集中力が切れてやり直すことも多い。作業用具は正しく扱うことができる。
社会性・ 対人関係	必要に応じて一方的に関わる人が多いため、相手のことを考えて協力することは苦手である。	自分から気が付いて、効率的な作業を心掛けることができるが、周りに伝えることなく自分の考えで終わってしまうことが多い。	積極的に人と関わることができるが、相手のことを考えた適切な関わりではないことがある。また、その場の雰囲気になじみやすい。	リーダーとして周りに指示を出すことはできるが、後輩に対して遠慮があり、指示の内容を徹底させることは難しい。

3 題材目標

(1) 全体目標

- 自分の役割を理解し、作業用具を正しく使って、見通しをもって作業を進めることができる。
- 挨拶や返事、報告などを場に応じて行ったり、生徒同士で協力し、確認したりすることができる。

(2) 個人目標

生徒	個人目標
A (2年:男)	<ul style="list-style-type: none"> 作業スピードを意識しながら、最後まで作業に取り組むことができる。 周りの生徒と協力しながら、作業を進めることができる。
B (2年:男)	<ul style="list-style-type: none"> 時間いっぱい自分の作業分担場所に取り組むことができる。 相手に伝わる適度な声量で、返事や報告などを行うことができる。
C (2年:男)	<ul style="list-style-type: none"> 手順カードを活用し、分担された範囲に最後まで取り組むことができる。 場に応じた適切な言葉遣いができる。
D (3年:男)	<ul style="list-style-type: none"> 作業範囲を意識しながら、時間いっぱい作業に取り組むことができる。 リーダーの役割を意識しながら、適切な指示を出すことができる。

4 指導計画（総時数140時間 [校内清掃：70時間]）

次	時数	学習活動・内容	準備等
一	24	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作業内容・役割分担について知る。 <ul style="list-style-type: none"> 作業学習の流れの確認をする。 手順カードを見ながら作業内容を理解する。 ○ 校内清掃（窓清掃）をする。 <ul style="list-style-type: none"> 手順を覚える。 必要な用具の準備や正しく片付けをする。 正しい用具の使い方を理解し、その使い方を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> 作業日誌 手順カード 窓清掃用具一式
二	26 本時 (10/26)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 丁寧に効率よく、校内清掃をする。 <ul style="list-style-type: none"> 仕上がりを自分で確認し、報告する。 必要に応じてやり直しをする。 効率よく作業するための方法を考える。 目標範囲を決めて作業する。 	<ul style="list-style-type: none"> 作業日誌 手順カード 窓清掃用具一式 高圧洗浄機
三	20	<ul style="list-style-type: none"> ○ お互いに確認しながら、校内清掃をする。 <ul style="list-style-type: none"> 汚れ具合を見て、作業する場所を決める。 チームで作業に取り組む。 自己評価について発表し、今後の課題を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 作業日誌 手順カード 窓清掃用具一式 高圧洗浄機

5 本時の実際（二次：10/26）

(1) 全体目標

- リーダーの指示に従い、時間いっぱい作業に取り組むことができる。
- 安全に気を付け、作業手順や仕上がりを確認しながら作業を進めることができる。
- 返事や報告を適切に行い、生徒同士で協力して正確に作業することができる。

(2) 個人目標

生徒	個人目標
A (2年:男)	<ul style="list-style-type: none"> 時間を意識しながら、自分で決めた窓ガラスの枚数を仕上げるができる。 自分から声を掛けて、友達とプランターを運ぶことができる。
B (2年:男)	<ul style="list-style-type: none"> 時間いっぱい、分担した作業範囲を作業することができる。 自分から教師の側に移動し、適切な態度で返事や報告などを行うことができる。
C (2年:男)	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて手順カードを活用し、手順どおりに取り組むことができる。 作業後、窓清掃のチーフとして、自分から報告することができる。
D (3年:男)	<ul style="list-style-type: none"> 作業範囲を意識しながら、最後まで真剣に作業に取り組むことができる。 リーダーの役割を意識しながら、適切なタイミングで指示を出すことができる。

(3) 指導及び支援に当たって

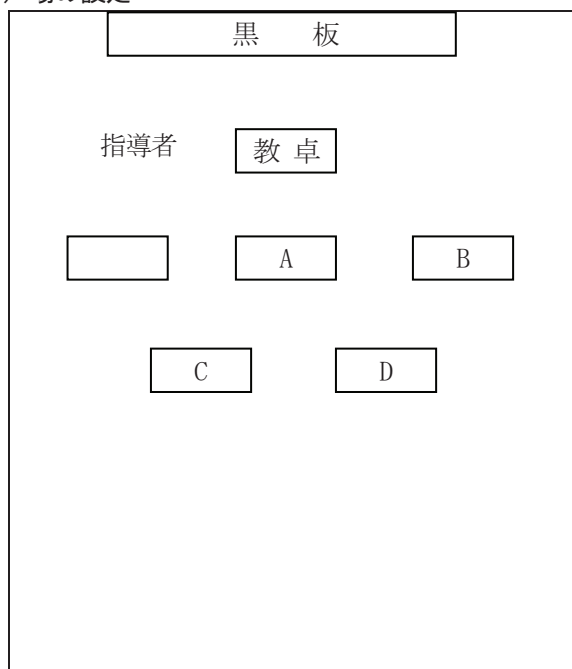
生徒たちはこれまで、繰り返し窓清掃を行ってきており、作業への理解を深めている。また、目標とする作業を時間内に終わらせるため、正確さや作業スピードを意識することで、作業への意欲も高めつつある。また、2学期から新たな作業である壁清掃にも取り組んでいる生徒もいる。

そこで本時では、継続して同じ作業内容に取り組み、リーダーを中心に自分たちで作業量を決めることで、協力し合いながら、生徒が見通しをもって作業を行うことができるようにする。また、生徒の実態に応じた手順カードや用具の使い方カードを準備し、安全に用具を取り扱うため、必要な時に手元で確認できるようにする。さらに、用具借用の許可や挨拶・返事・確認・報告などを場に応じたタイミングと伝え方で、相手に伝わる声量を意識してできるように言葉掛けをする。

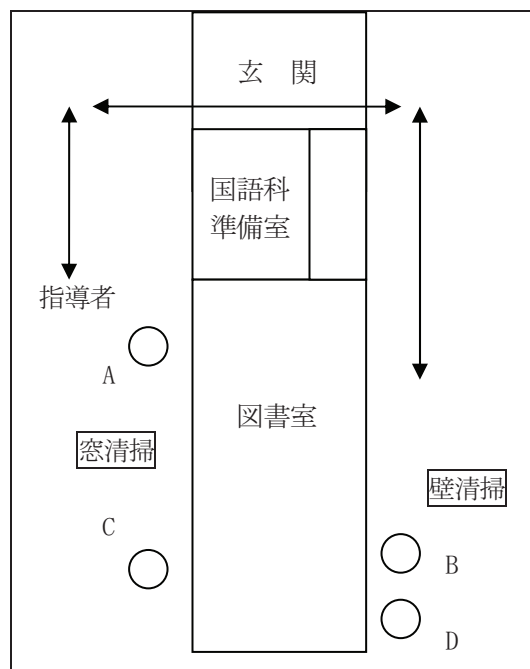
(4) 実際

過程	時間	学 習 活 動	指導上の留意点	備 考
導 入	10 分	1 はじまりの挨拶をする。 2 本時の作業内容を知る。 (1) 作業分担を確認する。 (2) 目標を確認し、日誌に記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 仕上がりを意識し、時間内に作業を終わらせよう。 </div> (3) 服装の確認をする。 3 作業用具を準備し、移動する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーダーの号令で姿勢を正して大きな声で挨拶ができるようにする。 ・ 黒板を見て目標を確認し、個人目標を意識させるために、日誌に印を付けさせる。 ・ 返事、報告などを忘れずに行うことを伝える。 ・ 作業終了時刻を日誌に記入することで、時間を意識しながら作業させる。 ・ リーダーの合図で、服装や作業分担の再確認することで、協力して準備ができるようにする。 ・ 用具借用の許可を取るよう伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進行表 ・ 黒板 ・ 日誌 ・ 作業用具
展 開	30 分	4 校内を清掃する。 (1) 分担場所を清掃する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 窓清掃 (A, C) ・ 壁清掃 (B, D) (2) 仕上がり具合を相互に確認する。 (3) 教師へ報告する。 5 作業用具の片付けをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーダーの指示により、担当する作業場所を確認させる。 ・ 用具の扱い方や周りの様子に注意することを確認し、安全面への意識を高めさせる。 ・ 高圧洗浄機の取り扱いについては、濡れた手でプラグを触らないことやノズルを人に向けてないことを確認する。 ・ 一定範囲の作業終了ごとに相互に確認し、報告するように言葉掛けをする。 ・ 生徒の実態に応じて、手順カードを見て確認しながら作業するように言葉掛けをする。 ・ 決められたとおりに、片付け・整理できるように言葉掛けをする。 	[窓清掃] <ul style="list-style-type: none"> ・ 手順カード ・ 雑巾 ・ 霧吹き ・ スクイジー [壁清掃] <ul style="list-style-type: none"> ・ 使い方カード ・ 高圧洗浄機 ・ ホース ・ ドラム
終 末	10 分	6 本時のまとめをする。 (1) 日誌を記入する。 (2) 反省を発表する。 (3) 教師による作業のまとめを聞く。 7 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日誌の記入を通して、自分で反省ができるようにする。 ・ リーダーとしての意識を高めるために、全体の反省をさせる。 ・ 次時の作業内容も確認し、反省を生かすことができるようにする。 ・ リーダーの号令で姿勢を正して大きな声で挨拶ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日誌

(5) 場の設定



導入・終末：特別支援学級（ひまわり）



作業時：図書室周辺

(6) 評価

ア 全体目標

- リーダーの指示に従い、時間いっぱい作業に取り組むことができたか。
- 安全に気を付け、作業手順や仕上がりを確認しながら作業を進めることができたか。
- 返事や報告を適切に行い、生徒同士で協力して正確に作業することができたか。

イ 個人目標

生徒	個人目標	評価	教師の手立て	評価
A (2年:男)	時間を意識しながら、自分で決めた窓ガラスの枚数を仕上げることができたか。		日誌で目標枚数を、確認させたか。	
	自分から声を掛けて、友達とプランターを運ぶことができたか。		本人に考えさせる言葉掛けができたか。	
B (2年:男)	時間いっぱい、分担した作業範囲を作業することができたか。		集中すべきところで、言葉掛けができたか。	
	自分から教師の側へ移動し、適切な態度で返事や報告などをすることができたか。		報告時に適切な距離を置くことができたか。	
C (2年:男)	必要に応じて手順カードを活用し、手順どおりに作業に取り組むことができたか。		手順カードと一緒に確認することができたか。	
	作業後、窓清掃のチーフとして、自分から報告することができたか。		できるだけ報告しやすい場所に移動できたか。	
D (3年:男)	作業範囲を意識しながら、最後まで真剣に作業に取り組むことができたか。		事前に時計の場所を一緒に確認できたか。	
	リーダーの役割を意識しながら、適切なタイミングで指示を出すことができたか。		態度について、適切なアドバイスができたか。	

[評価基準：◎…達成できた ○…一部達成できた △…達成できなかった]